

陳 情 文 書 表

平 2 3 陳 情 第 1 9 号	平成 2 3 年 1 0 月 1 1 日 受 理
件 名	年金受給資格期間の 1 0 年への短縮を求める陳情
陳 情 者	秦野市鶴巻南 5 - 2 - 1 4 ㊦ 全日本年金者組合秦野支部 ㊦ 支部長 内山 雄幸 ㊦
陳 情 の 原 文	
<p>陳情趣旨</p> <p>公的年金制度の最大の課題は、膨大な数の無年金・低年金者の存在です。厚生労働省資料でも、受給資格期間 2 5 年を今後満たす見通しのない人を含め、無年金者は 1 1 8 万人です。</p> <p>この問題の解決は、国民の老後の生活保障の上から喫緊の課題です。そのために、国民を豊かにして誰でも年金保険料を払えるようにすること、さらには最低保障年金制度創設の必要は言うまでもありません。しかし、無年金者を多くしている原因の一つである長すぎる受給資格期間の短縮は、各政党・団体が求めてきたところです。</p> <p>年金の受給資格期間短縮の必要性は、社会保障・税一体改革成案でも提起されています。この問題に関しては、既に国民的な合意ができており、速やかな具体化・法案化が求められます。</p> <p>つきましては、本陳情の趣旨をご理解の上、次の事項について地方自治法第 9 9 条に基づき、国に対して意見書を提出していただきたく陳情いたします。</p> <p>陳情事項</p> <p>1 年金受給資格期間 2 5 年を 1 0 年へ短縮することについて、早急に法案化すること。</p>	